

検査項目

測定参考文献

蛋白・膠質反応

総蛋白(TP)	Gornall AG et al : J Biol Chem 177 : 751 ~ 766, 1949.
アルブミン(Alb)	佐々木 真弓,他 : 医療と検査機器・試薬 26 (4) : 335 ~ 338, 2003.
尿中アルブミン	舩方 栄二 : 検査と技術 3 (7) : 625 ~ 630, 2005.
尿中アルブミン(クレアチニン換算値)	舩方 栄二 : 検査と技術 3 (7) : 625 ~ 630, 2005.
A/G比	浅井 孝道 : 検査と技術 7 (10) : 815 ~ 820, 1979.
蛋白分画	伊藤 喜久 : Medical Technology 39 (3) : 278 ~ 284, 2011.
尿中蛋白分画	伊藤 喜久 : Medical Technology 39 (3) : 278 ~ 284, 2011.
クンケル反応(ZTT)	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 第34版(金原出版) : 458 : 2015.

酵素および関連物質

CK(CPK)	日本臨床化学会 : 臨床化学 19 (2) : 184 ~ 208, 1990.
CK-MB(CPK-MB)(免疫阻止-UV法)	Wurzburg U et al : Klinische Wochenschrift 54 : 357 ~ 360, 1976.
CK-MB(CPK-MB)(CLIA)	Plran U et al : Clinical Chemistry 33 (9) : 1517 ~ 1520, 1987.
CK(CPK)アインザイム	高木 康,他 : 臨床検査 32 (11) : 1309 ~ 1315, 1988.
AST(GOT)	日本臨床化学会 : 臨床化学 18 (4) : 226 ~ 230, 1989.
ミトコンドリア-AST(m-AST)(m-GOT)	白波瀬 泰史,他 : 第7回日本臨床化学会分析部会関東支部学術集会 講演会抄録集 : 40 ~ 44, 1989.
ALT(GPT)	日本臨床化学会 : 臨床化学 18 (4) : 250 ~ 254, 1989.
LD(LDH)IFCC	Schumann, et al : Clin Chem Lab Med 49 (9) : 1439 ~ 1446, 2011.
LD(LDH)アインザイム	森山 隆則,他 : Medical Technology 25 (1) : 45 ~ 51, 1997.
アルカリフォスファターゼ(ALP)IFCC	Schumann, et al : Clin Chem Lab Med 49 (9) : 1439 ~ 1446, 2011.
骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	倉澤 健太郎,他 : 医学と薬学 55 (2) : 279 ~ 285, 2006.
胎盤型アルカリフォスファターゼ(PLAP)	Shinichiro Watanabe, et al : Pediatr Neurosurg 48 : 141 ~ 145, 2012.
ALPアインザイム(IFCC)	芝 紀代子 : 目でみる電気泳動法2 (医歯薬出版) : 55 ~ 71, 1989.
γ-GT(γ-GTP)	日本臨床化学会酵素専門委員会 : 臨床化学 24 (2) : 106 ~ 121, 1995.
アルドラーゼ	三浦 雅一,他 : 臨床検査機器・試薬 12 (5) : 1005 ~ 1009, 1989.
コリンエステラーゼ(ChE)	大澤 進,他 : 臨床化学 24 : 138 ~ 145, 1995.
グアナーゼ	手登根 稔,他 : 検査と技術 13 (10) : 901 ~ 905, 1985.
アデノシンデアミナーゼ(ADA)	佐野 史良,他 : 臨床検査機器・試薬 9 (4) : 715 ~ 720, 1986.
ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	小林 照明,他 : 臨床検査機器・試薬14 (6) : 929 ~ 935, 1991.
アミラーゼ(AMY)	高笠 信之 : The Chemical Times 201 (3) : 9 ~ 11, 2006.
アミラーゼアインザイム	星野 忠,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 37 (3) : 293 ~ 297, 2012.
P型アミラーゼ定量	高笠 信之 : The Chemical Times 201 (3) : 9 ~ 11, 2006.
リパーゼ	Sigeyuki I, Toshiaki H et al : Clinical Chemistry 35 : 1126, 1989.
トリプシン	植田 進之介,他 : 医学と薬学 77 (12) : 1659 ~ 1668, 2020.
隣ホスホリパーゼA ₂ (隣PLA ₂)	竹田 昌弘,他 : ホルモンと臨床 38 (7) : 729 ~ 734, 1990.
エラスターゼ1	大出 勝也,他 : 肝と膵 23(6):477~480, 2002.
子宮頸管粘液中 顆粒球エラスターゼ	北村 光,他 : 臨床検査機器・試薬 21 (4) : 357 ~ 361, 1998.
骨型酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ(TRACP-5b)	西沢 良記,他 : 医学と薬学 54 (5) : 709 ~ 717, 2005.
リゾチーム	北村 元仕 : 実践臨床化学 増補 : 432 ~ 436, 1982.
アンギオテンシン I 転換酵素(ACE)	Kasahara Y et al : Clinical Chemistry 27 (11) : 1922 ~ 1925, 1981.
ペプシノゲン	三木 一正,他 : 医学と薬学 56 (6) : 889 ~ 896, 2006.
MMP-3 (マトリックスメタロプロテイナーゼ-3)	氏家 真二,他 : 医学と薬学 67 (5) : 741 ~ 747, 2012.
胃がんリスク層別化検査(ABC分類)[LA]	乾 正幸,他 : 日本ヘリコバクター学会誌 19 (1) : 33 ~ 42, 2017.

低分子窒素化合物

クレアチニン	安原 正善,他 : 臨床検査機器・試薬 17 (1) : 59 ~ 67, 1994.
シスタチンC	Tanaka M, et al : Clinical Biochemistry 37 : 27 ~ 35, 2004.
尿酸(UA)	金井 泉,他 : 臨床検査法提要 第32版(金原出版) : 503 ~ 507, 2005.
尿素窒素(UN)	森下 芳孝 : Medical Technology 26 (6) : 695 ~ 700, 1998.
アンモニア	奥田 拓道,他 : 最新医学 21 (3) : 622 ~ 627, 1966.
アミノ酸分析(39種類)[LC/MS]	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691,2010.
アミノ酸分析(41種類)	日本生化学会 : 生化学実験講座 11 アミノ酸代謝と生体アミン 1版 : 53 ~ 67, 1976.
アミノ酸分析(9種類)[LC/MS]	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691,2010.
アミノ酸分析2種類(チロシン・フェニアラニン)[LC/MS]	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691,2010.
総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)	中村 俊之,他 : 臨床病理 37 (8) : 911 ~ 917, 1989.
γ-アミノ酪酸(GABA)	Fujiwara M et al : Analytical Biochemistry 166 : 72 ~ 78, 1987.
ハイドロキシプロリン-総	鈴木 隆夫,他 : 日本臨床化学会年会記録 28 : 118, 1988.
血中総ホモシステイン	Christian Hellmuth, et al : Journal of Chromatography B, 879 : 83 ~ 89, 2011.

検査項目

測定参考文献

糖質および関連物質

グルコース	日本臨床化学会試薬専門委員会：臨床化学 20 (4)：247～254, 1991.
ヘモグロビンA1c(HbA1c)(NGSP)	水松 良光,他：日本臨床検査自動化学会誌 41 (2)：215～220, 2016.
グリコアルブミン	石橋 みどり,他：医学と薬学 52 (3)：403～412, 2004.
ヒアルロン酸	島村 朗,他：医学と薬学 44 (6)：1141～1146, 2000.
1,5-アンヒドロ-D- グルシトール(1,5AG)	遠藤 輝夫,他：医療と検査機器・試薬 26 (1)：45～50, 2003.
糖代謝解析	張 春花,他：金医大誌 21：399～410, 1996.
シアル酸	水田 亘,他：臨床病理 特(54)：128～134, 1983.

有機酸

乳酸	浅沼 和子,他：生物試料分析 8 (3)：16～24, 1985.
ビルビン酸	浅沼 和子,他：生物試料分析 8 (3)：16～24, 1985.
尿中シュウ酸	小川 由英,他：腎と透析 臨増：151～157, 1997.
クエン酸	Warty VS et al：Clinical Chemistry 30 (7)：1231～1233, 1984.
血中ケトン体分画	西ヶ谷 晴美,他：医学検査 45 (3)：353, 1996.
アセトン定量	深堀 すみ江,他：労働科学 59 (12)：555～562, 1983.

脂質および関連物質

中性脂肪(TG)	Tamaoku K et al：Chem Pharm Bull 30 (7)：2492～2497, 1982.
リン脂質	Takayama M et al：Clinica Chimica Acta 79：93～98, 1977.
遊離脂肪酸(NEFA)	Sugo S, et al：Clinical Chemistry 36 (1)：163, 1990.
総コレステロール(T-Cho)	金井 正光,他：臨床検査法提要 第34版(金原出版)：512, 2015.
エステル型コレステロール(Echo)	Richmond W：Clinical Chemistry 19 (12)：1350～1356, 1973.
遊離コレステロール(F-Cho)	Richmond W：Clinical Chemistry 19 (12)：1350～1356, 1973.
コレステロールエステル比	Richmond W：Clinical Chemistry 19 (12)：1350～1356, 1973.
HDL-コレステロール	田口 隆由,他：臨床検査機器・試薬 24 (1)：35～41, 2001.
HDL _{2,3} コレステロール	Bronzert TJ et al：Clinical Chemistry 23 (11)：2089～2098, 1977.
LDL-コレステロール	菅野 剛史,他：医学と薬学 37 (3)：635～644, 1997.
レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)	大石 千早,他：日本臨床検査自動化学会誌 35 (1)：83～87, 2010.
酸化LDL(MDA-LDL)	小谷 一夫：酸化ストレスマーカー 学術出版センター：243～246, 2005.
脂肪酸分画(24成分)	小沢 昭夫,他：分析化学 31：87～91, 1982.
脂肪酸分画(4成分)	小沢 昭夫,他：分析化学 31：87～91, 1982.
極長鎖脂肪酸	小池 亮子：小児科診療 53 (増)：394～397, 1990.
総胆汁酸	今野 稔：臨床検査機器・試薬 16 (3)：472～479, 1993.
グリココル酸(CG)	金森 勇雄,他：日本放射線技師会雑誌 26 (4)：17～22, 1978.
リポ蛋白分画(アガロースゲル電気泳動法)	芝 紀代子：目でみる電気泳動法 2：91～99, 1989.
リポ蛋白分画(ポリアクリルアミドゲルディスク電気泳動法)	菅原 和行,他：衛生検査 27 (5)：624～627, 1978.
コレステロール分画	櫻林 郁之介,他：HDL-コレステロール基礎と臨床((株)テクノ)：207～220, 1980.
リポ蛋白(a)	岡野 芳幸,他：日本臨床検査自動化学会誌 21 (5)：705～709, 1996.
リポ蛋白リパーゼ(LPL)	Kobayashi J et al：Clinica Chimica Acta 216：113～123, 1993.
アポリポ蛋白 A-I	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1987.
アポリポ蛋白 A-II	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1987.
アポリポ蛋白 B	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1987.
アポリポ蛋白 C-II	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1987.
アポリポ蛋白 C-III	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1987.
アポリポ蛋白 E	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1987.
肺サーファクタント プロテインA(SP-A)	大木 卓,他：医学と薬学 71 (1)：161～166, 2014.
肺サーファクタント プロテインD(SP-D)	田中 誠仁, 佐藤 高明,他：医学と薬学 59 (3)：439～446, 2008.

ビタミンおよび関連物質

β-カロチン	加美山 茂利,他：臨床検査 31 (3)：268～274, 1987.
ビタミンA	須原 聡,他：臨床検査 36 (3)：235～239, 1992.
ビタミンB ₁	宮川 秀則,他：生物試料分析 36 (4)：327～330, 2013.
ビタミンB ₂	大石 誠子：ビタミンハンドブック3 ビタミン分析法(化学同人)：71～80, 1989.
ビタミンB ₆	吉田 纈親,他：薬学雑誌 98 (10)：1319～1326, 1978.
ビタミンB ₁₂	中森 誠,他：医療と検査機器・試薬 27 (3)：215～221, 2004.

検査項目

測定参考文献

ビタミンおよび関連物質

カルニチン分画	Takahashi M et al : Clinical Chemistry 40 (5) : 817 ~ 821, 1994.
ビタミンC(アスコルビン酸)	Lykkesfeldt J et al : Analytical Biochemistry 229 : 329~335, 1995.
25OHビタミンD(骨粗鬆症)	小島 哲: 臨床化学 48 (3) : 239 ~ 244, 2019.
25ヒドロキシビタミンD(くる病・骨軟化症)	小島 哲: 臨床化学 48 (3) : 239 ~ 244, 2019.
1,25-(OH) ₂ ビタミンD	Fraser WD et al : Ann Clin Biochem 34 : 632~637, 1997.
ビタミンE	阿部 皓一,他: 栄養と食糧 28 (5) : 277 ~ 280, 1975.
ビタミンE分画	阿部 皓一,他: ビタミン 49 (7) : 259 ~ 263, 1975.
ビタミンK分画	langenberg JP et al : Journal of Chromatography 305 : 61 ~ 72, 1984.
葉酸	西村 和子,他: 生物試料分析 35 (4) : 300 ~ 309, 2012.
ニコチン酸(ナイアシン)	宮沢 滋: ビタミン 56 (9・10) : 487 ~ 499, 1982.

電解質・血液ガス

Na(ナトリウム)	桑 克彦: 臨床検査 34 (11) : 1353 ~ 1358, 1990.
Cl(クロール)	関口 光夫: 検査と技術 17 (9) : 1167 ~ 1172, 1989. 桑 克彦: 臨床検査 34 (11) : 1353 ~ 1358, 1990.
K(カリウム)	桑 克彦: 臨床検査 34 (11) : 1353 ~ 1358, 1990. 高橋 勝幸: 検査と技術 20 (6) : 106 ~ 110, 1992.
Mg(マグネシウム)	北村 元仕: 実践臨床化学 1 版(医歯薬出版) : 166 ~ 171, 1974.
Ca(カルシウム)	根占 哲也: 都臨技会誌 34 (5) : 270 ~ 281, 2006.
イオン化カルシウム	桑 克彦: 検査と技術 19 (2) : 119 ~ 124, 1991.
P(無機リン)	Drewes PA : Clinica Chimica Acta 39 : 81 ~ 88, 1972.
浸透圧	鈴木 明,他: 検査と技術 6 (9) : 759 ~ 762, 1978.

生体微量元素

鉄(Fe)(血清)	荒明 洋,他: 臨床検査機器・試薬 6 (2) : 359 ~ 366, 1983.
鉄(Fe)(尿)	溝口 秀昭: 臨床医 8 (10) : 1624 ~ 1626, 1982.
総鉄結合能(TIBC)	荒明 洋,他: 臨床検査機器・試薬 6 (2) : 359 ~ 366, 1983.
不飽和鉄結合能(UIBC)	荒明 洋,他: 臨床検査機器・試薬 6 (2) : 359 ~ 366, 1983.
Cu(銅)(血清)	Abe A et al : Clinical Chemistry 35 (4) : 552 ~ 554, 1989.
Cu(銅)(尿)	Ichida T et al : Clinica Chimica Acta 24 : 299 ~ 303, 1969.
Zn(亜鉛)(血清)	井上 哲,他: 医療と検査機器・試薬41 (3) : 283 ~ 287, 2018.
Zn(亜鉛)(尿)	Meret S et al : Clinical Chemistry 17 (5) : 369 ~ 373, 1971.

生体色素関連物質

総ビリルビン(T-Bil)	徳田 邦明,他: 臨床化学 22 (2) : 116 ~ 122, 1993.
直接ビリルビン	徳田 邦明,他: 臨床化学 22 (2) : 116 ~ 122, 1993.
間接ビリルビン	徳田 邦明,他: 臨床化学 22 (2) : 116 ~ 122, 1993.
コプロポルフィリン 定性	近藤 雅雄: 日本臨床 53 (6) : 1377 ~ 1382, 1995.
コプロポルフィリン(尿)	近藤 雅雄: 日本臨床 53 (6) : 1377 ~ 1382, 1995.
コプロポルフィリン(血液)	Salmi M et al : Clinical Chemistry 26 (13) : 1832 ~ 1835, 1980.
ウロポルフィリン(尿)	近藤 雅雄: 日本臨床 53 (6) : 1377 ~ 1382, 1995.
ウロポルフィリン(血液)	Salmi M et al : Clinical Chemistry 26 (13) : 1832 ~ 1835, 1980.
プロトポルフィリン	Salmi M et al : Clinical Chemistry 26 (13) : 1832 ~ 1835, 1980.
δ-アミノレブリン酸(δALA)	園藤 陽子,他: 産業医学 35 : 126 ~ 127, 1993.

毒物・産業医学的代謝物質

尿中総三塩化物 トリクロロエチレン	城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2) : 225 ~ 231, 1986.
尿中総三塩化物 1・1・1-トリクロロエタン	城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2) : 225 ~ 231, 1986.
尿中総三塩化物 テトラクロロエチレン	城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2) : 225 ~ 231, 1986.
尿中トリクロロ酢酸 トリクロロエチレン	城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2) : 225 ~ 231, 1986.
尿中トリクロロ酢酸 1・1・1-トリクロロエタン	城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2) : 225 ~ 231, 1986.
尿中トリクロロ酢酸 テトラクロロエチレン	城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2) : 225 ~ 231, 1986.
尿中馬尿酸	岸浪 菊江子,他: 臨床化学 17 (3) : 128 ~ 135, 1988.
尿中メチル馬尿酸	岸浪 菊江子,他: 臨床化学 17 (3) : 128 ~ 135, 1988.
尿中スチレン代謝物	岸浪 菊江子,他: 臨床化学 17 (3) : 128 ~ 135, 1988.
尿中マンデル酸エチルベンゼン	岸浪 菊江子,他: 臨床化学 17 (3) : 128 ~ 135, 1988.
尿中N-メチルホルムアミド	Mraz J et al : Journal of Chromatography 414 : 399 ~ 404, 1987.
尿中2,5-ヘキサジオン	Iwata M et al : Int Arch Occup Environ Health 51 : 253 ~ 260, 1983.
アルミニウム(AI)	Oster O : Clinica Chimica Acta 114 : 53 ~ 60, 1981.
クロム	松岡 澄: 産業医学 13 (6) : 525 ~ 537, 1971. 田中 俊行,他: 医学と生物学 101 (5) : 277 ~ 281, 1980.
カドミウム	Lagesson V et al : Clinical Chemistry 25 (11) : 1948 ~ 1953, 1979.
マンガン	Tsalev DL et al : Bulletin of Environmental Contamination & Toxicology 17 (6) : 660 ~ 666, 1977.

参考文献一覧

検査項目

測定参考文献

生化学(その他)

ネオテリン	Hausen A et al : Journal of Chromatography 227 : 61 ~ 70, 1982.
エタノール	馬嶋 正隆,他 : 北里医学 14 : 424 ~ 430, 1984.
イヌリン定量(酵素法)	木全 伸介,他 : 医療と検査機器・試薬 28 (2) : 143 ~ 149, 2005.
結石分析(成分比率)	神 ちひろ,他 : 分析化学 53 (7) : 735 ~ 741, 2004.

抗菌薬

アミカシン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
トブラマイシン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
ゲンタマイシン	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
バンコマイシン	石澤 春美,他 : 栃木県臨床衛生検査技師会雑誌 8 (2) : 103 ~ 107, 2013.
テイコブラニン	諸岡 美里,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 38 (1) : 79 ~ 82, 2013.

抗てんかん薬

カルバマセピン	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
ジアセパム	Brodie RR et al : Journal of Chromatography 150 : 361 ~ 366, 1978.
エトスクジミド	宮本 侃治 : 臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
フェノバルビタール	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
フェニトイン	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
遊離フェニトイン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
ブリミドン	宮本 侃治 : 臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
バルプロ酸	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
遊離バルプロ酸	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
トリメタジオン	斉藤 正行,他 : ドラッグレベルモニタリング 治療への臨床化学的アプローチ : 100 ~ 110, 1982.
ゾニサミド	安田 真依,他 : 医療と検査機器・試薬 38 (2) : 205 ~ 210, 2015.
トピラマート	Matar, K M : Clinica Chimica Acta 411 : 729 ~ 734, 2010.
レベチラセタム	Mendu, D R, Soldin S J : Clinical Biochemistry 43 : 485 ~ 489, 2010.
スチリベントール	Deeb S, et al : J Anal Toxicol 38 (8) : 485 ~ 494, 2014.
ルフィナミド	Deeb S, et al : J Anal Toxicol 38 (8) : 485 ~ 494, 2014.
ペランパネル	Mano Y, et al : J Pharm Biomed Anal 107 : 56 ~ 62, 2015.
ラコサミド	Drew Payto, et al : Bioanalysis 6 (23) : 3161 ~ 3168, 2014.
アセタゾラミド	Sadee W et al : ドラッグレベルモニタリング : 90 ~ 91, 1982.

免疫抑制薬

シクロスポリン	古屋 実,他 : 医学と薬学 70 (5・6) : 961 ~ 973, 2013.
タクロリムス	古屋 実,他 : 医学と薬学 70 (5・6) : 961 ~ 973, 2013.
ミコフェノール酸	細坪 秀夫,他 : 今日の移植 14 (4) : 485 ~ 491, 2001.

循環器用薬

ジコキシシ	水内 由利,他 : 医学と薬学 35 (4) : 847 ~ 851, 1996.
ジソピラミド	扇谷 茂樹,他 : 臨床検査機器・試薬 6 (2) : 520 ~ 523, 1983.
リドカイン	宮本 侃治 : 臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
プロカインアミド	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
フロブラノロール	Ahnoff M et al : Journal of Chromatography 340 : 73 ~ 138, 1985.
ビルメノール	市川 林,他 : 臨床医薬 11 (4) : 903 ~ 906, 1995.
キニジン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.

精神神経用薬

ハロペリドール	白井 晶子,他 : 医学と薬学 49 (6) : 1011 ~ 1017, 2003.
フロムペリドール	白井 晶子,他 : 医学と薬学 50 (1) : 101 ~ 107, 2003.
リチウム	細羽 恵美子,他 : 臨床化学 46 (1) : 39 ~ 46, 2017.

薬物(その他)

アセトアミノフェン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
テオフィリン	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
サリチル酸	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
ヘパリン	Teien A et al : Thrombosis Reseach 8 (3) : 413 ~ 416, 1976.
メトトレキサート	中原 佑香里,他 : 医学と薬学 72 (4) : 761 ~ 767, 2015.
イマチニブ	Bakhtiar R, et al : Journal of Chromatography B 768 : 325 ~ 340, 2002.

検査項目

測定参考文献

血液一般・形態検査

血液一般検査	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版):265~295,2005.
好酸球数	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版):265~295,2005.
網状赤血球数(RET)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版):265~295,2005.
末梢血液像	西 国広,他:血液形態観察のすすめ方 第2版:1~288,1995. 巽 典之,他:自動血液検査品質保証論:26~27,2005.
好中球アルカリフォスファターゼ(AL-P染色スコア)	古沢 新平:臨床検査技術全書3 血液検査(三輪史朗編)第1版(医学書院):134~136,1972.
鼻汁中好酸球	奥田 稔:臨床検査 29(3):267~272,1985.

凝固・線溶関連検査

活性化部分 トロンボプラスチン時間(APTT)	日野 志郎:臨床検査講座15 血液学:244~250,1984.
プロトロンビン時間(PT)	高宮 脩:臨床検査機器・試薬 17(6):1079~1085,1994.
フィブリノーゲン(FIB)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第33版(金原出版):358~360,2010.
可溶性フィブリンモノマー複合体(SFMC)	八戸 雅孝,他:臨床病理 60(12)別冊:1139~1144,2012.
フィブリンモノマー複合体定量	内藤 澄悦,他:医学と薬学 48(4):595~599,2002.
FDP定量(血漿)	長野 美恵子,他:医療と検査機器・試薬 27(1):23~29,2004.
FDP定量(尿)	堀内 伸純,他:臨床検査機器・試薬 14(2):267~270,1991.
Dダイマー	佐野 将也,他:臨床検査機器・試薬 20(2):301~308,1997.
アンチトロンビンⅢ(ATⅢ)	Scully MF et al: Clinica Chimica Acta 79:595~602,1977.
トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体(TAT)	木村 真波,他:医療と検査機器・試薬 33(4):525~533,2010.
プラスミノーゲン	Friberger P et al: Haemostasis 7:138~145,1978.
アンチプラスミン(α_2 プラスミンインヒビター)	Friberger P et al: Haemostasis 7:138~145,1978.
α_2 プラスミンインヒビター・プラスミン複合体(PICテスト)	徐 吉夫,他:臨床検査機器・試薬 16(6):1107~1113,1993.
トータルPAI-1(tPA・PAI-1複合体)	曾我部 万紀,他:医学のあゆみ 173(12):997~998,1995.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子(F8)[合成基質法]	金井 正光,他:臨床検査法提要 第34版(金原出版):407~410,2015.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子(F9)[合成基質法]	金井 正光,他:臨床検査法提要 第34版(金原出版):407~410,2015.
凝固因子活性検査 第Ⅱ因子(F2)	安達 眞二: Medical Technology 24(6):629~633,1996.
凝固因子活性検査 第Ⅴ因子(F5)	安達 眞二: Medical Technology 24(6):629~633,1996.
凝固因子活性検査 第Ⅶ因子(F7)	安達 眞二: Medical Technology 24(6):629~633,1996.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子(F8)	安達 眞二: Medical Technology 24(6):629~633,1996.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子(F9)	安達 眞二: Medical Technology 24(6):629~633,1996.
凝固因子活性検査 第Ⅹ因子(F10)	安達 眞二: Medical Technology 24(6):629~633,1996.
凝固因子活性検査 第Ⅺ因子(F11)	安達 眞二: Medical Technology 24(6):629~633,1996.
凝固因子活性検査 第Ⅻ因子(F12)	安達 眞二: Medical Technology 24(6):629~633,1996.
凝固因子活性検査 第Ⅻ因子(F13)	Fickenscher K et al: Thrombosis and Haemostasis 65(5):535~540,1991.
凝固抑制因子検査 第Ⅷ(8)因子	Sirridge MS et al: Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd:196~198,1983.
凝固抑制因子検査 第Ⅸ(9)因子	Sirridge MS et al: Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd:196~198,1983.
フォン・ウィルブラント因子活性(リストセチンコファクター)	Macfarlane DE et al: Thrombos Diathes Haemorth 34:306~308,1975.
ADAMTS13-活性	伊藤 晋,他:日本輸血細胞治療学会誌 56(1):27~35,2010.
ADAMTS13 インヒビター	伊藤 晋,他:日本輸血細胞治療学会誌 56(1):27~35,2010.
β -トロンボグロブリン(β -TG)	高橋 芳右,他:血液と脈管 18(4):326~335,1987.
血小板第4因子(PF-4)	高橋 芳右,他:血液と脈管 18(4):326~335,1987.
プロテインC(抗原量)	筒井 聡明,他:検査と技術 12(7):581~587,1984.
プロテインC活性	藤岡 貴:医学と薬学 73(5):621~626,2016.
プロテインS(抗原量)	安藤 秀実,他:医療と検査機器・試薬 41(5):509~519,2018.
プロテインS活性	藤岡 貴:医学と薬学 73(5):621~626,2019.
プロテインS(遊離型抗原量)	安藤 秀実,他:医療と検査機器・試薬 41(5):509~519,2018.
トロンボモジュリン	小野 真弓,他:日本臨床検査自動化学会誌 38(1):114~117,2013.

視床下部・下垂体ホルモン

成長ホルモン(GH)	小山 沙世,他:医学と薬学 68(5):899~910,2012.
IGF-I(ソマトメジンC)	高須 重人,他:ホルモンと臨床 44(4):383~391,1996.
プロラクチン	古屋 実,他:医学と薬学 74(7):819~830,2017.
副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	古屋 実,他:医学と薬学 74(7):819~830,2017.
黄体形成ホルモン(LH)	古屋 実,他:医学と薬学 74(7):819~830,2017.
卵胞刺激ホルモン(FSH)	古屋 実,他:医学と薬学 74(7):819~830,2017.
甲状腺刺激ホルモン(TSH)	古屋 実,他:医学と薬学 74(3):317~326,2017.
抗利尿ホルモン(AVP)	田中 誠仁,他:医学と薬学 72(8):1379~1388,2015.

甲状腺ホルモンおよび結合蛋白

トリヨードサイロニン(T_3)	古屋 実,他:医学と薬学 74(3):317~326,2017.
遊離トリヨードサイロニン(Free T_3)	古屋 実,他:医学と薬学 74(3):317~326,2017.
サイロキシニン(T_4)	古屋 実,他:医学と薬学 74(3):317~326,2017.
遊離サイロキシニン(Free T_4)	古屋 実,他:医学と薬学 74(3):317~326,2017.
サイログロブリン	北川 亘,他:医学と薬学 71(9):1655~1666,2014.

検査項目

測定参考文献

副甲状腺ホルモン

副甲状腺ホルモン(PTH)-インタクト	山岡 美穂,他: 医学と薬学 46 (5): 753 ~ 758, 2001.
副甲状腺ホルモン(Whole PTH)	森山 和重,他: 医学と薬学 70 (4): 829 ~ 836, 2013.
副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)	福本 誠二,他: ホルモンと臨床 40 (12): 1309 ~ 1314, 1992.
カルシトニン	北川 亘,他: 医学と薬学 72 (1): 97 ~ 108, 2015.

副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白

17-KS7分画	石田 孝,他: 臨床化学 15 (1): 13 ~ 19, 1986.
血中11-OHCS	宇田川 美佐子,他: 臨床化学 5 (3): 321 ~ 325, 1977.
コルチゾール(血中)	柿沢 圭亮,他: 医学と薬学 73 (1): 71 ~ 76, 2016.
コルチゾール(尿)	福島 靖恵,他: 臨床検査機器・試薬 22 (6): 509 ~ 514, 1999.
デヒドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA-S)	増戸 梨恵,他: 医学と薬学 56 (3): 443 ~ 448, 2006.

レニン・アンギオテンシン・アルドステロン系

アルドステロン(CLEIA)	佐藤 文俊,他: 医学と薬学 76 (12): 1819 ~ 1826, 2019.
レニン濃度(ARC)(CLEIA)	佐藤 文俊,他: 医学と薬学 76 (12): 1827 ~ 1832, 2019.
レニン活性(PRA)(EIA)	宇津 貴央,他: 医学と薬学 73 (3): 311 ~ 321, 2016.
アンギオテンシン I	岩鼻 美佐,他: 医学と薬学 36 (2): 297 ~ 303, 1996.
アンギオテンシン II	岩鼻 美佐,他: 医学と薬学 36 (2): 297 ~ 303, 1996.

副腎髄質ホルモン

カテコールアミン総	Honda S et al : Analytica Chimica Acta 149 : 297 ~ 303, 1983.
カテコールアミン3分画(血漿)	辻 潮,他: 臨床検査機器・試薬 11 (4): 635 ~ 641, 1988.
カテコールアミン3分画(尿)	Honda S et al : Analytica Chimica Acta 149 : 297 ~ 303, 1983.
メタネフリン・ノルメタネフリン分画	Clark ZD, et al : Journal of Chromatography B 879 (31): 3673 ~ 3680, 2011.
L-ドーパ	守 和子: 産業医学 17 : 170 ~ 171, 1975.
ドーパミン総	守 和子: 産業医学 17 : 170 ~ 171, 1975.
HVA	Gironi A et al : Clinical Chemistry 34 (12): 2504 ~ 2506, 1988.
VMA	Gironi A et al : Clinical Chemistry 34 (12): 2504 ~ 2506, 1988.
セロトニン(血液)	Anderson GM et al : Gastroenterology 88 : 86 ~ 89, 1985.
セロトニン(血漿)	Nebinger P et al : Journal of Chromatography 427 : 326 ~ 330, 1988.
5-HIAA(血漿)	小島 司,他: 臨床化学 21 (2): 119 ~ 126, 1992.
5-HIAA(尿)	Mailman RB et al : Clinical Chemistry 31 (11): 1849 ~ 1854, 1985.
MHPG	宮川 富三雄: 蛋白質核酸酵素 26 (9): 1089 ~ 1098, 1981.

性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白

エストラジオール(E ₂)	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
プロゲステロン	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
プレグナジオール	平井 利生,他: 日本臨床検査自動化学会誌 9 (2): 564 ~ 567, 1984.
プレグナントリオール	平井 利生,他: 日本臨床検査自動化学会誌 9 (2): 564 ~ 567, 1984.
テストステロン	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
絨毛性ゴナドトロピン(HCG)	Cole LA et al : Clinical Chemistry 47 (2): 308 ~ 315, 2001.
遊離HCG-β(HCG-βサブユニット)	菅原 由人,他: 臨床検査機器・試薬 14 (3): 467 ~ 474, 1991.

膵・消化管ホルモン

インスリン	唐澤 美佳,他: 医療と検査機器・試薬 29 (5): 479 ~ 484, 2006.
C-ペプチド(CPR)	唐澤 美佳,他: 医療と検査機器・試薬 29 (5): 485 ~ 491, 2006.
膵グルカゴン	稲垣 貴之,他: 医学と薬学 72 (3): 491 ~ 497, 2015.
ガストリン	飯沼 一茂,他: Radioisotopes 31 (7): 350 ~ 356, 1982.

検査項目

測定参考文献

内分泌学的(その他)

サイクリックAMP	孫 孝義,他:日本内分泌学会雑誌 61 (9): 912 ~ 923, 1985.
ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	松岡 泰弘,他:医療と検査機器・試薬 33 (4): 535 ~ 540, 2010.
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)	伊藤 洋子,他:医学と薬学 64 (6): 931 ~ 939, 2010.
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (5): 607 ~ 617, 2017.
エリスロポエチン	増田 詩織,他:医学と薬学 67 (2): 297 ~ 306, 2012.
オステオカルシン	吉村 典子,他:Osteoporosis Japan 13 (3): 759 ~ 765, 2005.
低カルボキシシロ化オステオカルシン(ucOC)	西村 順,他:医学と薬学 57 (4): 523 ~ 535, 2007.
肝細胞増殖因子(HGF)	二井谷 好行,他:臨床検査 35 (13): 1360 ~ 1364, 1991.
FGF23 [CLEIA]	和泉 裕一,他:医療と検査機器・試薬 42 (3): 219 ~ 224, 2019.
アディポネクチン[LA]	Nishimura A. et al: Clinica Chimica Acta 371: 163 ~ 168, 2006.

腫瘍関連抗原

癌胎児性抗原(CEA)	鈴木 尚子,他:医学と薬学 56 (6): 897 ~ 907, 2006.
α -フェトプロテイン定量	鈴木 尚子,他:医学と薬学 56 (6): 897 ~ 907, 2006.
塩基性フェトプロテイン(BFP)	設楽 光弘,他:臨床病理 36 (9): 1039 ~ 1044, 1988.
CA125	黒田 雅頭:医療と検査機器・試薬 29 (6): 589 ~ 596, 2006.
CA15-3	黒田 雅頭:医療と検査機器・試薬 29 (6): 589 ~ 596, 2006.
BCA225	小林 美耶子,他:医学と薬学 72 (7): 1249 ~ 1259, 2015.
CA19-9	鈴木 尚子,他:医学と薬学 56 (6): 897 ~ 907, 2006.
CA72-4	矢田 紗世,他:医学と薬学 74 (7): 831 ~ 840, 2017.
シリアルTn抗原(STN)	井村 裕夫,他:癌と化学療法 16 (9): 3213 ~ 3219, 1989.
CA54/61	野澤 志朗,他:癌と化学療法 19 (12): 2085 ~ 2093, 1992.
DUPAN-2	櫻林 郁之介,他:臨床病理 34 (6): 705 ~ 710, 1986.
シリアルLe ^x -i抗原(SLX)	井村 裕夫,他:癌と化学療法 14 (5): 1315 ~ 1321, 1987.
シリアルLe ^x 抗原(CSLEX)	三嶋 芳樹,他:医学と薬学 29 (5): 1193 ~ 1200, 1993.
NCC-ST-439	吉岡 久,他:臨床病理 35 (11): 1233 ~ 1238, 1987.
SPan-1	梅山 馨,他:辟瘴 3 (4): 528 ~ 539, 1988.
SCC	林 圭織,他:医学と薬学 76 (12): 1809 ~ 1818, 2019.
前立腺特異抗原(PSA)	細羽 恵美子,他:医学と薬学 76 (11): 1635 ~ 1641, 2019.
γ -セミノプロテイン(γ -Sm)	佐藤 達郎,他:医学と薬学 43 (1): 97 ~ 106, 2000.
シフラ(CYFRA)(サイトケラチン19フラグメント)	黒田 雅頭:医療と検査機器・試薬 29 (6): 597 ~ 602, 2006.
5-S-システインルドーパ(5-S-CD)	Wakamatsu K et al: Clinical Chemistry 40 (3): 495 ~ 496, 1994.
NSE(神経特異エノラーゼ)	矢田 紗世,他:医学と薬学 74 (7): 831 ~ 840, 2017.
PIVKA-II	古谷 桃子,他:医学検査 68 (1): 56 ~ 60, 2019.
ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)	山本 典江,他:医療と検査機器・試薬 32 (2): 263 ~ 267, 2009.
血清抗p53抗体	橋本 礼輔,他:医学と薬学 75 (8): 955 ~ 964, 2018.
血清 HER2タンパク	Luftner D, et al: The International Journal of Biological Markers 19 (3): 175 ~ 182, 2004.
可溶性メソテリン関連ペプチド	中町 衛,他:医学と薬学 65 (2): 261 ~ 267, 2011.
CCR4タンパク(FCM)	日本臨床検査標準協議会 血液検査標準化検討委員会:日本臨床検査標準協議会会報 18 (2): 69 ~ 107, 2003.

ウイルス感染症検査

HBVゲノタイプ	田中 靖人,他:臨床病理 57 (1): 42 ~ 47, 2009.
HBV DNA定量(IU)	菅原 昌草,他:医学と薬学 73 (10): 1329 ~ 1339, 2016.
HBs抗原(HQ)	戸来 孝,他:医学と薬学 72 (9): 1569 ~ 1577, 2015.
HBs抗体[CLEIA]	大根 久美子,他:臨床病理 63 (8): 907 ~ 912, 2015.
HBs抗体	蒲池 正次,他:臨床検査機器・試薬 17 (6): 1173 ~ 1180, 1994.
B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)	田中 靖人,他:臨床病理 54 (7): 692 ~ 698, 2006.
HBc抗体(IgG)	八橋 弘,他:医学と薬学 66 (6): 1075 ~ 1081, 2011.
IgM-HBc抗体	熊谷 保之:日本臨床検査自動化学会誌 25 (1): 70 ~ 74, 2000.
HBc抗体	森藤 隆夫,他:臨床病理 特(67): 101 ~ 108, 1986.

検査項目

測定参考文献

ウイルス感染症検査

HA抗体	矢野 公士,他: 医学と薬学 58 (1): 151 ~ 161, 2007.
IgM-HA抗体	矢野 公士,他: 医学と薬学 58 (1): 151 ~ 161, 2007.
HCV群別(グルーピング)	長谷川 瞳,他: 医学と薬学70 (3): 633 ~ 641, 2013.
HCV RNAコアジェノタイプ	Ohno T et al: Journal of Clinical Microbiology 35 (1): 201 ~ 207, 1997.
HCV RNA 1b(NS5A)	Enomoto N et al: The New England Journal of Medicine 334 (2): 77 ~ 81, 1996.
HCV RNA定量	菅原 昌章,他: 医学と薬学 73 (10): 1329 ~ 1339, 2016.
HCV抗原(コア蛋白質)	田原 和子,他: 日本臨床検査自動化学会誌 36 (2): 267 ~ 274, 2011.
HCV DCV耐性変異(L31/Y93)	Uchida Y et al: PLoS One 9 (11)e 112647: 1 ~ 7, 2014.
HCV 薬剤耐性変異 NS3-D168	Suzuki F et al: Journal of Clinical Virology 54 (4): 352 ~ 354, 2012.
HCV NS5B-S282変異	Suzuki F et al: Journal of Clinical Virology 54 (4): 352 ~ 354, 2012.
IgA-HEV抗体(定性)	飯野 四郎,他: 医学と薬学 53 (4): 461 ~ 469, 2005.
ヒトパルボウイルスB19 IgG	要藤 裕孝,他: 感染症学雑誌 69 (10): 1135 ~ 1140, 1995.
ヒトパルボウイルスB19 IgM	要藤 裕孝,他: 感染症学雑誌 69 (10): 1135 ~ 1140, 1995.
ヒトパルボウイルスB19DNA 定性	Sevall JS: Molecular and Cellular Probes 4: 237 ~ 246, 1990.
ヒトパピローマウイルスDNA(16型,18型,その他ハイリスクグループ)	三浦 俊昭,他: 医学と薬学 69 (1): 157 ~ 162, 2013.
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)	Clavel C et al: Diagnostic Molecular Pathology 9 (3): 145 ~ 150, 2000.
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)(LBC)	Ko. V et al: Cancer Cytopathology 108 (6): 468 ~ 474, 2006.
ヒトパピローマウイルス(HPV)ジェノタイプ判定	尾崎 聡,他: 臨床病理 60 (7): 621 ~ 626, 2012.
ヒトパピローマウイルスDNA(ローリスクグループ)	Clavel C et al: Diagnostic Molecular Pathology 9 (3): 145 ~ 150, 2000.
ヒトパピローマウイルスDNA(ローリスクグループ)(LBC)	Ko. V et al: Cancer Cytopathology 108 (6): 468 ~ 474, 2006.
アデノウイルス	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル(文光堂): 880 ~ 886, 1988.
アデノウイルスDNA 定性	Hierholzer JC et al: Journal of Clinical Microbiology 31 (7): 1886 ~ 1891, 1993.
アデノウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 7型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 8型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 11型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 37型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス特異抗原	川名 尚,他: 感染症学雑誌 61 (9): 1030 ~ 1037, 1987.
単純ヘルペスウイルス	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル (文光堂): 880 ~ 886, 1988.
単純ヘルペスウイルス IgG	厚生省監修: 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊: 48 ~ 61, 1987.
単純ヘルペスウイルス IgM	厚生省監修: 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊: 48 ~ 61, 1987.
単純ヘルペスウイルス DNA 定性	Cao M et al: J Invest Dermatol 82: 391 ~ 392, 1989.
単純ヘルペスウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG	林 伸英,他: 生物試料分析 36 (3): 229 ~ 234, 2013.
水痘・帯状疱疹ウイルス抗原(FA)	新村 真人,他: 感染症学雑誌 64 (2): 195 ~ 201, 1990.
水痘・帯状疱疹ウイルス(CF)	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル (文光堂): 880 ~ 886, 1988.
水痘・帯状疱疹ウイルス IgG	吉田 晃,他: 臨床とウイルス 13 (4): 490 ~ 496, 1985.
水痘・帯状疱疹ウイルス IgM	平野 勝,他: 医学と薬学 42 (4): 641 ~ 645, 1999.
水痘・帯状疱疹ウイルスDNA 定性	本藤 良,他: 日本臨床 50 (特別号): 160 ~ 165, 1992.
サイトメガロウイルス pp65抗原(C10,C11)	浅井 隆善,他: 今日の移植 7 (6): 553 ~ 559, 1994.
サイトメガロウイルス pp65抗原(C7-HRP)	権藤 久司,他: 臨床血液 34 (11): 1438 ~ 1444, 1993.
サイトメガロウイルス	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル (文光堂): 880 ~ 886, 1988.
サイトメガロウイルス IgG	厚生省監修: 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊: 48 ~ 61, 1987.
サイトメガロウイルス IgM	厚生省監修: 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊: 48 ~ 61, 1987.

検査項目

測定参考文献

ウイルス感染症検査

サイトメガロウイルス DNA 定性	Olive DM et al : Journal of Clinical Microbiology 27 (6) : 1238 ~ 1242, 1989.
サイトメガロウイルス核酸検出(新生児尿)	Mitani Y, et al : Nat Methods 4 (3) : 257 ~ 262, 2007.
サイトメガロウイルス核酸定量	森 沙耶香,他 : 医学と薬学 77 (8) : 1181 ~ 1188, 2020.
EBウイルスDNA 定量	Kimura H, et al : J Clin Microbiol 37 (1) : 132 ~ 136, 1999.
EBウイルス 抗VCA IgG(EIA)	脇口 宏,他 : 医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗VCA IgG(FA)	日沼 頼夫,他 : 臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗VCA IgM(EIA)	脇口 宏,他 : 医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗VCA IgM(FA)	日沼 頼夫,他 : 臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗VCA IgA	日沼 頼夫,他 : 臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EA IgG	脇口 宏,他 : 医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗EA-DR IgG	日沼 頼夫,他 : 臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EA-DR IgA	日沼 頼夫,他 : 臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EBNA	日沼 頼夫,他 : 臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EBNA IgG	脇口 宏,他 : 医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
ヒトヘルペスウイルス6型DNA 定性	近藤 一博,他 : 蛋白質核酸酵素 35 (17) : 3041 ~ 3047, 1990.
ヒトヘルペスウイルス7型DNA 定性	Yalcin S et al : Archives of Virology 136 : 183 ~ 190, 1994.
エンテロウイルス RNA 定性	川俣 治 : 新潟医学会雑誌 111 (10) : 633 ~ 646, 1997.
エンテロウイルス 70型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エンテロウイルス 71型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群2型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群3型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群4型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群5型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群6型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群7型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群9型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群9型(CF)	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス A群10型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群16型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群1型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群1型(CF)	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群2型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群2型(CF)	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群3型(CF)	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群4型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群4型(CF)	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群5型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群5型(CF)	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群6型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群6型(CF)	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
エコーウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 7型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 9型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 11型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.

検査項目

測定参考文献

ウイルス感染症検査

エコーウイルス 12型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 13型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 14型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 16型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 17型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 18型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 22型(パレコウイルス1型)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 24型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 25型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 30型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
日本脳炎ウイルス(JaGAr株)	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第2分冊：81～97, 1987.
日本脳炎ウイルス	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
日本脳炎ウイルスRNA 定性	森田 公一,他：日本臨床 50 (特別号)：285～289, 1992.
風疹ウイルス	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
風疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
風疹ウイルス IgM	佐藤 俊則,他：臨床とウイルス 23 (1)：44～47, 1995.
インフルエンザウイルスRNA 定性	Zhang W et al：Diagnostic Molecular Microbiology：373～382, 1993.
インフルエンザウイルス A型(H1N1)(H3N2)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
インフルエンザウイルス A型	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
インフルエンザウイルス B型(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
インフルエンザウイルス B型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
パラインフルエンザウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
パラインフルエンザウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
パラインフルエンザウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
RSウイルス(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
RSウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
麻疹ウイルス(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
麻疹ウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
麻疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
麻疹ウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
麻疹ウイルスRNA 定性	Godec MS et al：Journal of Medical Virology 30：237～244, 1990.
ムンプスウイルス(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
ムンプスウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
ムンプスウイルス(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル (文光堂)：880～886, 1988.
ムンプスウイルス IgG	中山 哲夫：医学と薬学 42 (2)：303～306, 1999.
ムンプスウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
ムンプスウイルス RNA 定性	Yamada A et al：Vaccine 8 (6)：553～557, 1990.
HTLV-I (ATLV) 抗体(PA)	池田 幹雄,他：図説臨床症シリーズ 9：42～50, 1986.
HTLV-I (ATLV) 抗体(CLEIA)	植柳 泰,他：医学と薬学 73 (8)：1031～1035, 2016.
HTLV-1抗体	Zrein M, et al：Clin Diagn Lab Immunol 5 (1)：45～49, 1998.
HTLV-1核酸検出(妊婦) 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80 (21)：10683～10691, 2006.
HTLV-1プロウイルスDNA 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80 (21)：10683～10691, 2006.
HTLV-I (ATLV) プロウイルスDNA(クロナリティ)	渡辺 俊樹,他：Meidical Immunology 16 (6)：785～791, 1988.
HIV-1RNA定量	目崎 和久,他：医学と薬学 73 (6)：705～709, 2016.
HIV-2抗体	菱田 靖,他：医学と薬学 27 (4)：959～970, 1992.
HIV抗原・抗体	桜庭 尚哉,他：医学と薬学 65 (5)：663～672, 2011.
ノロウイルス抗原	田中 智之：医学と薬学 61 (1)：93～98, 2009.
ノロウイルスRNA定性	Kageyama T, et al：J Clin Microbiol 41 (4)：1548～1557, 2003.

感染症(非ウイルス)関連検査

クラミジアトラコマティス IgA	梶原 祥子,他：医学と薬学 37 (3)：711～719, 1997.
クラミジアトラコマティス IgG	梶原 祥子,他：医学と薬学 37 (3)：711～719, 1997.

検査項目

測定参考文献

感染症(非ウイルス)関連検査

クラミジアトラコマティスDNA	熊本 悦明,他:医学と薬学 66 (6):1007~1014,2011.
オーム病クラミドフィラ(クラミジアシタシ)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886,1988.
クラミドフィラ(クラミジア)シタシ IgG	厚生省監修:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊:62~75,1987.
クラミドフィラ(クラミジア)シタシ IgM	厚生省監修:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊:62~75,1987.
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgG	松本 明:第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgA	松本 明:第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgM	宮下 修行,他:小児科診療 71 (1):95~99,2008
抗ストレプトリジン-O抗体(ASO)	伊藤 忠一:日本臨床 39 (6):685~688,1995.
抗ストレプトキナーゼ抗体(ASK)	土屋 彦治,他:臨床検査機器・試薬 7 (2):417~422,1984.
エンドトキシン定量	土谷 正和,他:日本細菌学雑誌 45 (6):903~911,1990.
透析液中エンドトキシン A液	相沢 真紀,他:腎と透析 55 別冊:68~70,2003.
透析液中エンドトキシン B液	相沢 真紀,他:腎と透析 55 別冊:68~70,2003.
透析液中エンドトキシン RO水	相沢 真紀,他:腎と透析 55 別冊:68~70,2003.
透析液中エンドトキシン 調整液	相沢 真紀,他:腎と透析 55 別冊:68~70,2003.
透析液中エンドトキシン その他	相沢 真紀,他:腎と透析 55 別冊:68~70,2003.
百日咳抗体(EIA)	岡田 賢司:医学と薬学 65 (4):531~536,2011.
抗ヘリコバクターピロリ抗体(LA)	乾 正幸,他:日本ヘリコバクター学会誌 19 (1):33~42,2017.
便中ヘリコバクターピロリ抗原	朝日 佳代子,他:医学と薬学 57 (2):253~260,2007.
梅毒定性 RPR(LA)	桜庭 尚哉:医学と薬学 63 (1):103~109,2010.
梅毒定量 RPR(LA)	桜庭 尚哉:医学と薬学 63 (1):103~109,2010.
梅毒定量 RPR法	福岡 良男:新訂臨床検査講座23 臨床免疫学(医歯薬出版):361~364,1997.
梅毒定性 TP抗体(LA)	高橋 勝幸,他:医療と検査機器・試薬 33 (1):89~95,2010.
梅毒定量 TP抗体(LA)	高橋 勝幸,他:医療と検査機器・試薬 33 (1):89~95,2010.
梅毒定量 TPHA	出口 松夫,他:感染症学雑誌 68 (10):1271~1277,1994.
FTA-ABS	山屋 駿一:微生物検査必携 細菌・真菌検査 第3版:H83~H91,1995.
寒冷凝集反応	原島 典子,他:衛生検査 27 (1):67~71,1978.
マイコプラズマニューモニエ(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886,1988.
マイコプラズマニューモニエ(PA)	大関 トシイ,他:自治医科大学臨床検査技師年報 12:62~64,1988.
ツツガムシカーブ IgG	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3):270~274,1984.
ツツガムシカーブ IgM	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3):270~274,1984.
ツツガムシカトー IgG	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3):270~274,1984.
ツツガムシカトー IgM	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3):270~274,1984.
ツツガムシギリアム IgG	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3):270~274,1984.
ツツガムシギリアム IgM	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3):270~274,1984.
クリプトコックス・ネオフォルムス抗原	篠田 孝子,他:真菌と真菌症 30 (3):211~221,1989.
カンジダマンナン抗原	新崎 晃弘,他:臨床検査機器・試薬 23 (3):197~203,2000.
アスペルギルス抗体	浜本 恒男:臨床と微生物 15 (3):352~356,1988.
アスペルギルス抗原	見手倉 久治,他:医学と薬学 42 (1):207~212,1999.
β -D-グルカン	吉田 耕一郎,他:感染症学雑誌 79 (7):433~442,2005.
トリコスポロン・アサヒ抗体	三宅 修司,他:日本呼吸器学会誌 39 (1):7~11,2001.
トキソプラズマ IgG抗体	亀井 喜世子,他:臨床病理 42 (7):743~747,1994.
トキソプラズマ IgM抗体	亀井 喜世子,他:臨床病理 42 (7):743~747,1994.
結核菌特異的IFN- γ	Meier T, et al: European Journal of Clinical Microbiology & Infectious Diseases 24:529~536,2005.
MAC抗体(抗酸菌抗体定性)	Kitada S, et al: AMERICAN JOURNAL OF Respiratory and Critical Care Medicine 177 (1):793~797,2008.

自己免疫関連検査

抗核抗体(ANA)	東條 毅:臨床検査 30 (7):687~692,1986.
抗DNA抗体(RIA)	鈴木 王洋,他:臨床免疫 25 (8):1096~1102,1993.
抗ss-DNA IgG抗体	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26 (6):747~753,2001.
抗ss-DNA IgM抗体	山下 雅樹,他:医学と薬学 58 (5):763~767,2007.
抗ds-DNA IgG抗体	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26 (6):747~753,2001.
抗ds-DNA IgM抗体	山下 雅樹,他:医学と薬学 58 (5):763~767,2007.
抗Sm抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版):973~975,1993.
抗Sm抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2):345~355,2012.
抗RNP抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版):973~975,1993.
抗RNP抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2):345~355,2012.
抗SS-A/Ro抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版):973~975,1993.
抗SS-A/Ro抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2):345~355,2012.
抗SS-B/La抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版):973~975,1993.
抗SS-B/La抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2):345~355,2012.

検査項目

測定参考文献

自己免疫関連検査

抗Scl-70抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版):973~975,1993.
抗Scl-70抗体(CLEIA)	松下 雅和,他:医学と薬学 70 (1):109~117,2013.
抗RNAポリメラーゼⅢ抗体	桑名 正隆:リウマチ科 40 (3):239~245,2008.
抗セントロメア抗体	小島 和夫,他:医学と薬学 69 (3):677~687,2013.
抗Jo-1抗体(オクタロニー法)	西海 正彦:臨床検査機器・試薬 13 (4):835~838,1990.
抗Jo-1抗体(CLEIA)	松下 雅和,他:医学と薬学 70 (1):109~117,2013.
抗ARS抗体	山田 祐介,他:リウマチ科 45 (2):133~138,2011.
リウマチ因子(RF) 定量	鬼塚 聖子,他:日本臨床検査自動化学会誌 35 (1):17~22,2010.
IgG型リウマチ因子	栗原 夕子,他:リウマチ科 22 (5):499~510,1999.
抗ガラクトース欠損IgG抗体	平山 吉郎,他:医学と薬学 42 (5):817~828,1999.
抗シトルリニ化ペプチド(CCP)抗体	山下 里美,他:医学と薬学 66 (3):569~576,2011.
抗ミトコンドリア抗体	山内 進,他:臨床免疫 7 (7):825~830,1975.
抗ミトコンドリア M2抗体	丹野 瑞木,他:医学と薬学 67 (3):485~495,2012.
抗平滑筋抗体	山内 進:臨床免疫 7 (7):825~830,1975.
抗胃壁細胞抗体	山内 進:衛生検査 22 (12):1085~1089,1973.
抗内因子抗体	Elizabeth A. Gomez et al: Clinical Chemistry 51 (1):232~235,2005.
ロイシンリッチα2グロブリン(LRG)	高山 茂雄,他:医学と薬学 76 (12):1769~1780,2019.
抗甲状腺 マイクロソーム抗体(マイクロソームテスト)	土屋 彦治,他:臨床検査 28 (1):99~101,1984.
抗甲状腺 ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3):317~326,2017.
抗甲状腺 サイログロブリン抗体(サイロイドテスト)	土屋 彦治,他:臨床検査機器・試薬 6 (4):1007~1010,1983.
抗サイログロブリン抗体	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3):317~326,2017.
TSH刺激性レセプター抗体(TSAb)	上條 桂一,他:医学と薬学 71 (5):903~911,2014.
TSHレセプター抗体(定量)	小森 明日香,他:医学と薬学 46 (4):563~570,2001.
TSHレセプター抗体(第3世代)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3):317~326,2017.
抗GAD抗体	及川 洋一,他:医学と薬学 72 (9):1551~1560,2015.
抗IA-2抗体	川崎 英二,他:医学と薬学 66 (2):345~352,2011.
亜鉛トランスポーター 8 (ZnT8)抗体	Eiji Kawasaki et al: Acta Diabetol 51 (3):429~434,2014.
インスリン抗体	内瀧 安子,他:医学と薬学 65 (4):525~530,2011.
抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	太田 光熙,他:ホルモンと臨床 48 (1):89~93,2000.
抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体(抗MuSK抗体)	本村 政勝,他:医学と薬学 70 (2):421~428,2013.
抗デスマグレイン1抗体	吉田 かおり,他:医学と薬学 70 (5・6):989~1000,2013.
抗デスマグレイン3抗体	吉田 かおり,他:医学と薬学 70 (5・6):989~1000,2013.
抗BP180抗体(血清中抗BP180NC16a抗体)	吉田 かおり,他:医学と薬学 70 (5・6):989~1000,2013.
ミエリン塩基性蛋白(MBP)	Ohta M et al: Clinical Chemistry 46 (9):1326~1330,2000.
抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	白井 丈一,他:医学と薬学 68 (4):697~704,2012.
精子不動態抗体	香山 浩二:日本産科婦人科学会雑誌 42 (11):N209~N212,1990.
精子不動態抗体(SI50)	香山 浩二:日本産科婦人科学会雑誌 42 (11):N209~N212,1990.
ループスアンチコアグラント〔APTT凝固時間法〕	後藤 守孝,他:Modern Physician 15 (12):1545~1550,1995.
ループスアンチコアグラント〔希釈ラッセル蛇毒時間法〕	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5):621~626,2016.
ループスアンチコアグラント〔リン脂質中和法〕	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5):621~626,2016.
抗カルジオリビン β ₂ グロブリンI 複合体抗体(抗CL・β ₂ GPI抗体)	野島 順三,他:医学と薬学 32 (6):1315~1320,1994.
抗カルジオリビン抗体(IgG)	岡田 純,他:医学と薬学 36 (6):1389~1394,1996.
抗カルジオリビン抗体(IgM)	鎌木 淳一,他:医学と薬学 43 (6):1183~1188,2000.
抗血小板抗体	柴田 洋一:輸血学(中外医学社):457~470,1978.
PAIgG(血小板関連IgG)	林 悟,他:臨床病理 32 (11):1253~1257,1984.
HIT抗体(血小板第4因子・ヘパリン複合体抗体)	阪田 敏幸:医学と薬学 68 (3):547~555,2012.
抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA)	松下 雅和,他:医学と薬学 66 (5):823~828,2011.
抗好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)	松下 雅和,他:医学と薬学 66 (5):823~828,2011.
抗LKM-1抗体	竹村 真理,他:医学と薬学 46 (1):109~114,2001.
免疫複合体(C1q)	中村 敏男,他:臨床免疫 14 (S5):92~100,1982.
免疫複合体(モノクローナルRF)	森 勝志,他:医学と薬学 27 (2):347~354,1992.
抗アクアポリン4抗体	高橋 利幸,他:医学と薬学 73 (10):1297~1300,2016.

免疫血液学の検査

ABO式血液型	林 祐也,他:Medical Technology 33 (9):957~960,2005.
Rh(D因子)式血液型	林 祐也,他:Medical Technology 33 (9):957~960,2005.
Rh-Hr式血液型	長田 広司:医薬ジャーナル 32 (S1):215~219,1996.
直接クームス試験	浅井 隆善:医学のあゆみ 167 (9):700,1993.
間接クームス試験	浅井 隆善:医学のあゆみ 167 (9):700,1993.
不規則性抗体	浅井 隆善:医学のあゆみ 167 (9):700,1993.

検査項目

測定参考文献

免疫グロブリン

IgG	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版):823~827,1998.
IgA	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版):823~827,1998.
IgM	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版):823~827,1998.
IgGサブクラス分画(TIA)	川 茂幸,他:医学と薬学 74 (4):463~470,2017.
IgG2	川 茂幸,他:医学と薬学 74 (4):463~470,2017.
IgG4	松木 友里,他:医学と薬学 75 (7):849~858,2018.
免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版:8~26,1977.
免疫電気泳動(特異抗血清による同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版:8~26,1977.
免疫電気泳動(特異抗血清による同定)(DIRA)	McCudden C,et al: Clin Chem Lab Med 54 (6):1095~1104,2016.
免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比(フリーライトチェーン)	守田 由香,他:医学と薬学 74 (8):945~950,2017.
尿中免疫電気泳動(尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版:8~26,1977.
オリゴクローナルバンド	佐々木 征治,他:最新電気泳動実験法(医歯薬出版):61~74,1999.
クリオグロブリン定性	青木 紀生,他:Medical Technology 6 (8):619~624,1978.

補体および関連物質

血清補体価	中藤 聡子,他:臨床検査機器・試薬 19 (4):609~613,1996.
C3	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版):833~837,1998.
C4	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版):833~837,1998.
C1q	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
C1インアクチベーター活性(C1エステラーゼインヒター活性)	Dick W et al: Immun Infekt 13:113~118,1985.

血漿蛋白

プレアルブミン	古田島 伸雄,他:日本臨床検査自動化学会誌 32 (1):84~88,2007.
α ₁ -マイクログロブリン	中野 卓,他:臨床検査機器・試薬 11 (3):469~476,1988.
α ₁ アンチトリプシン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
α ₁ アシドグリコプロテイン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
レチノール結合蛋白(RBP)	古田島 伸雄,他:日本臨床検査自動化学会誌 32 (1):84~88,2007.
α ₂ -マクログロブリン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
ハプトグロビン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
セルロプラスミン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
トランスフェリン	伊藤 忠一:検査と技術 16 (7):593~598,1988.
尿中トランスフェリン	齋藤 良一,他:日本臨床検査自動化学会誌 25 (5):687~690,2000.
尿中トランスフェリン(クレアチニン換算値)	齋藤 良一,他:日本臨床検査自動化学会誌 25 (5):687~690,2000.
β ₂ -マイクログロブリン	伊藤 浩治,他:医療と検査機器・試薬 26 (2):127~134,2003.
C反応性蛋白(CRP)定量	河合 忠,他:臨床検査機器・試薬 20 (4):503~517,1997.
ペントラキシン3(PTX3)	Inoue et al: Arterioscler Thromb Vasc Biol. 27 (1):161~167,2007.
血清アミロイドA蛋白(SAA)	永徳 広美,他:生物物理化学 37 (1):19~23,1993.
ミオグロビン	吉川 文雄,他:医学と薬学 37 (5):1243~1253,1997.
尿中ミオグロビン	吉川 文雄,他:医学と薬学 37 (5):1243~1253,1997.
ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)	藤田 孝,他:医療と検査機器・試薬 33 (5):629~632,2010.
心室筋ミオシン軽鎖I	宮崎 修一,他:医学と薬学 52 (3):443~449,2004.
心筋トロポニンT	古屋 実,他:医学と薬学 74 (5):607~617,2017.
フェリチン	唐澤 美佳,他:医療と検査機器・試薬 29 (5):493~497,2006.
L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)(CLEIA)	森 さゆり,他:医療と検査機器・試薬 41 (6):615~620,2018.
尿中NGAL	Cullen MR, et al: Ann Clin Biochem 49 (2):190~193,2012.
ヒト癌胎児性フィブロネクチン	Lockwood CJ et al: The New England Journal of Medicine 325 (10):669~674,1991.
I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(total P1NP)	日高 好博:医学と薬学 70 (2):357~365,2013.
I型コラーゲンC末端 テロペプチド(I CTP)	清原 剛,他:ホルモンと臨床 42 (12):1189~1193,1994.
Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGi)	柴田 宏,他:臨床病理 63 (1):72~77,2015.
オートタキシン	島本 怜史,他:東ソ一研究・技術報告 第61巻:99~103,2017.
プロコラーゲンⅢペプチド(P-Ⅲ-P)(CLIA)	北原 志穂,他:医学と薬学 72 (9):1579~1590,2015.
尿中Ⅳ型コラーゲン	小幡 賢一,他:臨床検査機器・試薬 18 (3):439~444,1995.
Ⅳ型コラーゲン・7S(CLEIA)	大高木 結媛,他:医学と薬学 77 (5):785~792,2020.
デオキシビリジノリン	山本 逸雄,他:ホルモンと臨床 44 (7):747~757,1996.
デオキシビリジノリン(DPD)(骨粗鬆症)	山本 逸雄,他:ホルモンと臨床 44 (7):747~757,1996.
KL-6	桜庭 尚哉,他:医学と薬学 61 (4):629~635,2009.
プロカルシトニン	小林 一三,他:医学と薬学 73 (4):459~467,2016.

参考文献一覧

検査項目

測定参考文献

免疫血清学(その他)

リン酸化タウ蛋白 B Van Everbroeck et al : J Neurol Neurosurg Psychiatry 73 : 79 ~ 81, 2002.

サイトカイン

可溶性IL-2レセプター (sIL-2R) 林 圭織,他 : 医学と薬学 75 (12) : 1611 ~ 1620, 2018.
TARC(Th2ケモカイン) 安江 智美,他 : アレルギーの臨床 34 (10) : 60 ~ 65, 2014.
IL-4 (インターロイキン-4)(高感度) Kricka LJ : Clinical Chemistry 37 (9) : 1472 ~ 1481, 1991.
IL-6 (インターロイキン-6) 竹村 正男,他 : 医学と薬学 36 (5) : 1071 ~ 1076, 1996.
IL-10 (インターロイキン-10) Groote DD et al : Journal of Immunological Methods 177 : 225 ~ 234, 1994.

アレルギー検査

特異的IgE(シングルアレルゲン)[FEIA] 奥田 勲,他 : 医学検査 46 (10) : 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE(マルチアレルゲン) 奥田 勲,他 : 医学検査 46 (10) : 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE(View アレルギー 39) 張田 聖恵 : 医学と薬学 73 (6) : 721 ~ 726, 2016.
アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルゲン) 奥田 勲,他 : 医学検査 46 (10) : 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE(C-PAC16アレルゲン) 奥田 勲,他 : 医学検査 46 (10) : 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE(C-PAC5アレルゲン) 奥田 勲,他 : 医学検査 46 (10) : 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE(Ara h 2)(ピーナッツ由来) 奥田 勲,他 : 医学検査 46 (10) : 1525 ~ 1530, 1997.
IgE(非特異的IgE)[CLEIA] 榎本 雅夫,他 : アレルギーの臨床 23 (1) : 62 ~ 66, 2003.
特異的IgE(シングルアレルゲン)[CLEIA] 右田 忍,他 : 医学と薬学 48 (1) : 101 ~ 107, 2002.
特異的IgE(ミックスアレルゲン) 右田 忍,他 : 医学と薬学 48 (1) : 101 ~ 107, 2002.
特異的IgE(MAST36アレルゲン) 中川 武正,他 : アレルギーの臨床 26 (3) : 238 ~ 242, 2006.
特異的IgE(MAST48mix) 澤崎 健 : アレルギーの臨床 38 (12) : 1145 ~ 1151, 2018.
特異的IgE(汎用セットスクリーニング16) 右田 忍,他 : 医学と薬学 48 (1) : 101 ~ 107, 2002.
特異的IgE(汎用セットコンビネーション6) 右田 忍,他 : 医学と薬学 48 (1) : 101 ~ 107, 2002.

細胞性免疫検査

CD34定量 Chen CH et al : Journal of Hematotherapy 3 : 3 ~ 13, 1994.
高感度PNH型血球検査 日本臨床検査標準協議会 血液検査標準化検討委員会 : 日本臨床検査標準協議会誌 18 (2) : 69 ~ 85, 2003.
白血病・リンパ腫解析検査(LLA)CD45ゲーティング(造血器悪性腫瘍細胞検査) Borowitz MJ et al : American Journal of Clinical Pathology 100 : 534 ~ 540, 1993.
悪性リンパ腫解析検査(MLA)CD45ゲーティング(造血器悪性腫瘍細胞検査) Borowitz MJ et al : American Journal of Clinical Pathology 100 : 534 ~ 540, 1993.
多発性骨髄腫解析検査 CD38マルチ解析(造血器悪性腫瘍細胞検査) HASSERT J, et al : CYTOMETRY 22 : 264 ~ 281, 1995.
悪性リンパ腫解析検査 7AAD解析(造血器悪性腫瘍細胞検査) HASSERT J, et al : CYTOMETRY 22 : 264 ~ 281, 1995.
PHAによるリンパ球 幼若化検査 笠原 忠,他 : 臨床検査 23 (7) : 660 ~ 667, 1979.
Con-Aによるリンパ球 幼若化検査 笠原 忠,他 : 臨床検査 23 (7) : 660 ~ 667, 1979.
薬剤によるリンパ球 刺激試験(DLST) 北見 啓之,他 : 臨床免疫 15 (9) : 727 ~ 736, 1983.
MLC(リンパ球混合培養) 笹月 健彦,他 : 移植 14 (2) : 93 ~ 113, 1979.
T細胞百分率 B細胞百分率 Wauwe JV et al : Immunology 44 : 865 ~ 871, 1981.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgG Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgA Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgM Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgD Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) K Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) L Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析 Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
NK細胞活性 康 浩一,他 : Medical Technology 21 (7) : 574 ~ 580, 1993.

先天異常の染色体検査

染色体 G-Banding Seabright M : The Lancet 2 : 971 ~ 972, 1971.
染色体 C-Banding Sumner AT et al : Exp Cell Res 75 : 304 ~ 306, 1972.
染色体 Q-Banding Caspersson T et al : Hereditas 67 : 89 ~ 102, 1971.
染色体 高精度分染法 Ikeuchi T et al : Proc Japan Acad 55 (1) : 15 ~ 18, 1979.
脆弱X染色体(脆弱X症候群) Sutherland GR : Science 197 : 265 ~ 266, 1977.
7染色体(ウィリアムス症候群) 稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
13染色体 稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
15染色体(ブラダーウイリ症候群) 稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
15染色体(アンジェルマン症候群) 稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
17染色体(ミラーディカー症候群) 稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
18染色体 稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
21染色体 稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
22染色体(22q11欠失)(CATCH22) conotruncal anomaly face 症候群velo-cardio-facial症候群 DiGeorge症候群 稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
X染色体 稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
Y染色体 稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
Y染色体(睾丸決定遺伝子SRY) 稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
X,Y染色体(身長関連遺伝子SHOX) 稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.

検査項目

測定参考文献

白血病や悪性リンパ腫の染色体検査

血液疾患染色体 G-Banding	Seabright M: The Lancet 2 971 ~ 972, 1971.
ALK 2p23転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
IGH-FGFR3 t(4;14)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
FIP1L1-PDGFR4 del(4) 長腕欠失(4q12欠失)	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
CSF1R del(5)長腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
PDGFRB 5q32転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
D7S486 del(7)長腕欠失/7染色体(7モノソミー)	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
8染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
MYC 8q24転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
IGH-MYC t(8;14)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
RUNX1-RUNX1T1(AML1-MTG8) t(8;21)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
BCR-ABL1 t(9;22)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
末梢血好中球 BCR-ABL1 t(9;22)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
IGH-CCND1(IGH-BCL1) t(11;14)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
BIRC3-MALT1(API2-MALT1) t(11;18)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
12染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
IGH-BCL2 t(14;18)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
IGH-MAF t(14;16)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
PML-RARA t(15;17)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
CBFB inv(16)逆位、t(16;16)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
TP53 del(17)短腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
del(20)長腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
X染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
Y染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
異性間BMT(骨髄移植)(X,Y染色体)	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.

造血器腫瘍遺伝子検査

FLT3/ITD 変異解析	Kiyoi. H, et al : Leukemia 11 : 1147 ~ 1452, 1997.
FLT3変異解析ITD/TKD	Murphy KM, et al : J Mol Diagn 5 (2) : 96 ~ 102, 2003.
JAK2V617F遺伝子変異解析	桐戸 敬太,他: 臨床血液 59 (6) : 669 ~ 674, 2018.
白血病キメラスクリーニング(定量)	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
WT1 mRNA定量	宮脇 修一,他: 臨床血液 46 (12) : 1279 ~ 1287, 2005.
Major BCR-ABL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
Major BCR-ABL1 mRNA(IS)	Hirohisa Nakamae, et al : International Journal of Hematology DOI 10.1007/s12185-015-1826-9, 2015.
Major BCR-ABL1 mRNA定性	Kawasaki ES et al : Proc Natl Acad Sci USA 85 (15) : 5698 ~ 5702, 1988.
Major BCR-ABL1 ABL1変異解析	Arghya Ray, et al : Blood 109 (11) : 5011 ~ 5015, 2007.
minor BCR-ABL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
minor BCR-ABL1 mRNA定性	Kawasaki ES et al : Proc Natl Acad Sci USA 85 (15) : 5698 ~ 5702, 1988.
minor BCR-ABL1 ABL1変異解析	Arghya Ray, et al : Blood 109 (11) : 5011 ~ 5015, 2007.
PML-RARA mRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
PML-RARA mRNA定性	Borrow J et al : Science 249 : 1577 ~ 1580, 1990.
CBFB-MYH11 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性	Miyoshi H et al : Proc Natl Acad Sci USA 88 (23) : 10431 ~ 10434, 1991.

免疫関連遺伝子再構成検査

T細胞レセプター β鎖Cβ1再構成	村上 龍文,他: 日本臨床 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンH鎖J _H 再構成	村上 龍文,他: 日本臨床 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンH鎖C _H 再構成	村上 龍文,他: 日本臨床 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.

悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

EGFR変異解析 v2.0	Benlloch S, et al : PLoS One 9 (2) : e89518, 2014.
EGFR変異解析 v2.0(血漿)	Benlloch S, et al : PLoS One 9 (2) : e89518, 2014.
ROS1融合遺伝子定性(FPFE)	日本肺癌学会: 肺癌患者におけるROS1融合遺伝子検査の手引き 第1.0版 2017年4月6日
EML4-ALK 融合遺伝子定性	Horn L, et al : Journal of Clinical Oncology 27 (26) : 4232 ~ 4235, 2009.
c-kit遺伝子変異解析(GIST)	Alessandra Maleddu, et al : Journal of Translational Medicine 9 : 75, 2011.
RAS・BRAF遺伝子変異解析	Bando H, et al : BMC Cancer 13 : 405, 2013.
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FPFE)	Buhand O, et al : J Clin Oncol. 24 (2) : 241 ~ 251, 2006.
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FF)	Buhand O, et al : J Clin Oncol. 24 (2) : 241 ~ 251, 2006.

遺伝学的検査

ジストロフィンDNA	Lai KKS et al : Clin Biochemistry 39 (4) : 367 ~ 372, 2006.
アンドロゲンレセプター遺伝子CAG反復配列解析	La Spada A. R, et al : Nature 352 : 77 ~ 79, 1991.

検査項目

測定参考文献

薬剤応答遺伝子検査

IL28B SNPs 解析	Ito K, et al : J Clin Microbiol 49 : 1853 ~ 1860, 2011.
UGT1A1遺伝子多型解析	森 篤雄,他 : Bio Clinica 23 (7) : 643 ~ 648, 2008.
NUDT15遺伝子codon 139多型解析	Moriyama T, et al : Nat Genet, 48 (4) : 367 ~ 373, 2016.

移植関連遺伝子検査

HLA-A,B(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他 : MHC 10 (1) : 21 ~ 31, 2003.
HLA-A(DNAタイピング)	石川 善英 : MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-B(DNAタイピング)	石川 善英 : MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-C(DNAタイピング)	石川 善英 : MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-DR(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他 : MHC 10 (1) : 21 ~ 31, 2003.
HLA-DRB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他 : MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
HLA-DPB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他 : MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
HLA-DQB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他 : MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
抗HLA抗体(スクリーニング検査)	日本組織適合性学会 認定制度委員会 : QCWS参考プロトコル 抗体検査(LABScreen)平成29年度版.

尿一般検査

尿中一般検査	金井 泉,他 : 臨床検査法提要 第30版(金原出版) : 99 ~ 105, 1993.
尿沈渣	大野 明美,他 : 臨床検査 55 (7) : 712 ~ 718, 2011.

糞便検査

虫卵(塗抹)	金井 泉,他 : 臨床検査法提要 第30版(金原出版) : 192 ~ 208, 1993.
虫卵(集卵)	金井 泉,他 : 臨床検査法提要 第30版(金原出版) : 192 ~ 208, 1993.
便中ヘモグロビン及びヒトトランスフェリン	加藤 節子,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 473 ~ 478, 2006.
便中ヘモグロビン定性[金コロイド法]	加藤 節子,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 473 ~ 478, 2006.
便中ヘモグロビン定量[金コロイド法]	加藤 節子,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 473 ~ 478, 2006.

微生物学的検査

一般細菌 (塗抹鏡検、培養同定、嫌気性培養、尿中生菌数定量、 薬剤感受性、目的菌、便検診検査、環境検査)	Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.1. Williams & Wilkins, 1984. Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.2. Williams & Wilkins, 1986. Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.3. Williams & Wilkins, 1989. Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.4. Williams & Wilkins, 1989. 吉田 真一(編集), 柳 雄介(編集), 吉開 泰信(編集) : 戸田新細菌学 第26版. 南山堂, 1974. 小栗 豊子,編 臨床微生物検査ハンドブック 第4版. 三輪書店, 2011. 犬塚 和久,編 堀井俊伸,監修 MICROBIAL TESTING NAVI 微生物検査ナビ 株式会社キタ・メディア,栄研化学株式会社, 2013 細菌検査 塗抹・培養 ガイドライン 初版 社団法人日本衛生検査所協会, 2010. Clinical Microbiology Procedures Handbook-4th edition, 2016. 抗菌薬感受性検査のための標準法-M100-S26 第26版 CLSI, 2016. 嫌気性菌検査ガイドライン 2012 初版, 臨床微生物学会, 2012.
ヘリコバクター培養同定・感受性	後藤 陽一郎,他 : 検査と技術 21 (13) : 1061 ~ 1066, 1993. 日本化学療法学会抗菌薬感受性測定委員会,ヘリコバクターピロリ委員会:日本化学療法学会誌 50 (1):54 ~ 58, 2002.
CDトキシン(GDH)	蔵田 訓,他 : 臨床と微生物 37 (5) : 465 ~ 470, 2010. AJIT P. LIMAYE 他 JOURNAL of CLIMICALMICROBIOLOGY Vol.38 No.4 : 1696 ~ 1697, 2000.
CDトキシンB遺伝子 定性	松浦 成美,他 : 医学検査 67 (4) : 451 ~ 455, 2018.
抗酸菌(抗酸菌塗抹、分離培養、薬剤感受性、結核菌群抗原)	日本結核病学会 抗酸菌検査法検討委員会 : 抗酸菌ガイド2016. 小栗 豊子,編 臨床微生物検査ハンドブック 第4版. 三輪書店, 2011.
抗酸菌同定(質量分析)	大楠 清文,他 : 抗酸菌検査ガイド2016 : 60 ~ 65, 2016.
結核菌群核酸同定(TRC)	田村 卓,他 : 日本臨床微生物学雑誌 18 (1) : 15 ~ 19, 2008.
MAC核酸同定(TRC)	田村 卓,他 : 日本臨床微生物学雑誌 18 (1) : 15 ~ 19, 2008.

培養同定検査

ニューモシスチスカリニ(P.jirovecii)DNA	Wakefield AE et al : The Lancet 336 : 451 ~ 453, 1990.
マイコプラズマニューモニエDNA	山口 恵三,他 : 医学と薬学 58 (4) : 565 ~ 571, 2007.
レジオネラDNA 定性	山口 恵三,他 : 医学と薬学 58 (4) : 565 ~ 571, 2007.
百日咳菌DNA	Kamachi K,et al : J Clin Microbiol 44 (5) : 1899 ~ 1902, 2006.
赤痢アメーバDNA 定性	Tachibana H,et al : J Infect Dis 164 (4) : 825 ~ 826,1991.
淋菌DNA	熊本 悦明,他 : 医学と薬学 66 (6) : 1007 ~ 1014, 2011.
淋菌およびクラミジアトラコマチスrRNA同時同定	松田 静治,他 : 日本性感染症学会誌 15 (1) : 116 ~ 126, 2004.
淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定	熊本 悦明,他 : 医学と薬学 66 (6) : 1007 ~ 1014, 2011.
マイコプラズマジェニタリウムrRNA 定性	Le Roy C, et al : J Clin Microbiol 55 (11) : 3194 ~ 3200, 2017.
ウイルス分離	Hsiung GD : Diagnostic Virology An Illustrated Handbook : 3 ~ 20, 1973.
ウイルス同定	Hsiung GD : Diagnostic Virology An Illustrated Handbook : 3 ~ 20, 1973.

検査項目

測定参考文献

病理組織検査

エストロゲンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
プロゲステロンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
エストロゲンレセプター / プロゲステロンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
乳癌HER2/neuタンパク(染色法)	谷 洋一 : Pharma Medica 18 (8) : 87 ~ 92, 2000.
乳癌HER2遺伝子(FISH)	Persons DL et al : Annals of Clinical Laboratory Science 30 (1) : 41 ~ 48, 2000.

AIRS[®]・AICS[®]

男性AIRS(認知機能評価あり)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
女性AIRS(認知機能評価あり)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
男性AIRS(認知機能評価なし)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
女性AIRS(認知機能評価なし)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
男性AICS(5種)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
女性AICS(6種)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.

ウイルス感染症検査

麻疹ウイルス(PA)ワクチン	栄 賢司,他 : 臨床とウイルス 20 (1) : 35 ~ 40, 1992.
----------------	--

免疫関連検査

sFlt-1	Stefan Verlohren, et al : American Journal of Obstetrics Gynecology 202 (2) : 161. e1 ~ 161. e11, 2009.
PIGF	Stefan Verlohren, et al : American Journal of Obstetrics Gynecology 202 (2) : 161. e1 ~ 161. e11, 2009.

その他特殊検査

亜硝酸/硝酸イオン	Green LC et al : Analytical Biochemistry 126 : 131 ~ 138, 1982.
レプチン	鈴木 茂夫,他 : Bio Clinica 13 (12) : 1049 ~ 1052, 1998.
高分子量アディポネクチン(CLEIA)	折津 政江,他 : 医学と薬学 62 (5) : 891 ~ 898, 2009.
抗ミューラー管ホルモン(AMH)	浅田 義正,他 : 医学と薬学 72 (1) : 109 ~ 118, 2015.